

TEAM FUKUOKA NEWS

Today's news Flash

スキー競技会 開幕！

平成26年2月21日(金)、第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会の開始式が行われた。現在、1月28日(火)～2月2日(日)まで栃木県日光市で開催されたスケート競技会・アイスホッケー競技会が終了し、福岡県は男女総合成績(天皇杯)10位、女子総合成績(皇后杯)7位に位置しており、是非ともこの勢いを受け継いでいきたい。



旗手梅津選手が堂々の入場！！

本県選手団の旗手は、クロスカンントリー競技に出場する、梅津健太郎選手(大濠中学校・高等学校)がつとめ、「日常は大濠公園を拠点として、持久力を衷心としたトレーニングを実施している。広島県や北海道合宿の成果を出し、福岡県のために頑張りたい。」と力強くコメントを残した。



長谷川選手圧倒的な勝利！！

2月22日(土)、成年女子Bのジャイアントスラロームで長谷川絵美選手(サンミリオン)が出場し、圧倒的な強さで優勝した。コースコンディションが悪い中、ただ一人の51秒台をマークして圧巻の優勝であった。長谷川選手は今シーズン、ワールドカップ大会に参戦し、ソチオリンピックの日本代表の最終選考までいった選手であったが、残念ながらオリンピックへの出場は果たせなかった。そうした中、本県選手として国体二位参加した長谷川選手は、「オリンピックに出場できなかったが、国体で優勝することができて、少しは恩返しが出来た」と語った。今国体の初の得点が優勝という素晴らしい成績であった。県スキー連盟や地元でスキー競技を支援していただいている株式会社サンミリオンの大きなバックアップがあつての優勝と感じられた。



県スキー連盟スタッフと選手



果敢に攻める長谷川選手

少年女子選手 全力滑走！！

少年女子ジャイアントスラロームに、南波選手（県立香椎高校）、櫻井選手（県立三池高校）、山下選手（県立伝習館高校）の県立高校生3名が出場した。普段は練習環境に恵まれないものの、県スキー連盟が実施する強化事業等で力をつけ、最後まで攻める滑りを見せた。3名の選手は、成年女子Bで優勝した本県の長谷川選手の滑りを見て、「レベルの違いを感じた。しかし、少しでも近づけるよう頑張りたい。」と今後の強化に向けた意欲を語った。



全力滑走の櫻井選手

Result

第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会大会成績一覧（2月22/23日）

ジャイアントスラローム				クロスカントリー			
種別	順位	氏名	タイム	種別	順位	氏名	タイム
成年男子A	82位	松田 篤征	1:21.63	成年男子A	82位	田中 基大	41:10.7
	91位	松田 倫明	1:31.71	成年男子B	38位	梅津健太郎	35:37.1
	DNF	山田 智士					
成年女子A	14位	吉原 眞子	1:12.26				
成年男子C	94位	木裳 義之	59.08				
	104位	木戸 守	1:01.25				
	107位	毛利 淳	1:03.78				
成年女子B	1位	長谷川絵美	51.21				
	13位	水口かおり	54.94				
少年女子	74位	南波 陽菜	57.33				
	102位	櫻井わか菜	1:05.50				
	103位	山下 紗季	1:13.77				

冬季大会終了時点成績（スケート・アイスホッケー・スキー）

スキー競技会での獲得点は8点という結果であった。競技力が強化環境に大きく影響を受けるスキー競技では、北海道や東北地方が圧倒的に有利な中、女子総合では10位に入ることができた。この結果の背景には、選手個人の努力はもちろん、地元企業や県スキー連盟による取組みがある。福岡県選手強化推進実行委員会としては、こうした取組みを競技団体と民間企業との有効な連携事例として、今後の強化活動に活かしていきたい。

第69回国民体育大会冬季大会終了時点の成績は、以下のとおりである。昨年と比較して5点減となっているものの、女子総合成績は5位に位置し、ライバル県も得点は伸ばしていない。福岡県は、冬季競技選手団の奮戦により、総合成績8位以内入賞に向けて好スタートを切った。

順位	男女総合成績	得点	順位	女子総合成績	得点
1位	北海道	441点	1位	北海道	184点
2位	長野県	342.5点	2位	長野県	152.5点
3位	東京都	194点	3位	大阪府	76点
4位	神奈川県	176点	4位	群馬県	74点
5位	山形県	172点	5位	福岡県	73点
6位	埼玉県	159点	6位	東京都	72点
7位	青森県	145点	7位	山梨県	68点
8位	新潟県	132点	8位	神奈川県	66点
13位	福岡県	114点	8位	愛知県	66点